

2016/8/25 (Thu.) 第100号

日本医師連盟ニュース

日本医師連盟ニュース
 発行所
 日本医師連盟
 東京都文京区本駒込2-28-16
 〒113-8621
 TEL: 03-3947-7815
 FAX: 03-3947-2662
 E-mail: info01@nichiren.jp

http://www.nichiiren.jp/

定価 1年400円 (但し日医連負担金を含む)

参議院比例代表選挙

自見はなこ氏 21万票を獲得し当選

当確の報 喜びに沸く

開票日当日は、横倉義武日医連委員長をはじめ、日医連役員、全国の医師連盟役員が医師会館に集まり、病院団体、支援団体、企業関係者とともに開票の様子を見守った。

午後八時過ぎには、民放、新聞各社から自見はなこ候補の当選確実が伝えられた。

午後八時三十分、自見はなこ日医連参与が会場に姿を現すと万雷の拍手に包まれ、自見はなこ参与は支援者に深々と頭を下げた。

そのうち、横倉委員長の発声で万歳三唱が行われ、自見はなこ参与から日医連はじめ全国の医師連盟、小児科医連盟、各病院団体等の支援団体、企業へ御礼の挨拶が述べられた。

「十八日間の厳しい戦い、皆さまお一人一人にお世話にな



万歳する横倉義武委員長ら

第24回参議院議員選挙は7月10日投開票が行われた。比例代表(全国区)に日本医師連盟推薦で自民党から立候補していた日本医師連盟参与の自見はなこ氏は21万562票を獲得し(自民党9位)当選を果たした。



ダルマに目を入れる自見はなこ参与

りました。本当にありがとうございました。多くの方の『社会保障を少しでも良くしてほしい』という声をいただいたの当選だと思えます。いただいたこの任期の六年間、一日も無駄にすることなく国民の皆さまと歩みを進めて参ります」

詰めかけた支援者と固い握手を交わし、自見はなこ参与は当選の喜びを分かち合った。

そのうち、安倍晋三総裁をはじめとした自民党役員に当選の報告をするため、永田町の自民

党本部へと向かった。

自見はなこ議員初登院、議員会館事務所決まる!

八月一日、第百九十一回臨時国会が召集され、自見はなこ議員は参議院に初登院し、開会式に臨んだ。

自見はなこ国会事務所

〒100-8962

東京都千代田区永田町二一

参議院議員会館五〇四号室

電話(〇三)三五八一三一一

(代表)



初登院する自見はなこ参議院議員



医療福祉系の自民党比例候補者のなかでトップ

自民党の比例候補者二十五人中、医療福祉系の組織内候補は七人(当選は六人)。七人の総得票数は九十二万票余り。医療福祉への国民の関心の高さが窺える。自見はなこ参与はその二三%弱を獲得、今後の活躍が期待される。(得票数を二面に掲載)

写真で振り返る選挙戦



①6月22日 出陣式ガンパロー



②6月22日 遊説スタート



③6月24日 個人演説会



④6月30日 関東ブロック総決起大会



⑤7月9日 最終日 街頭演説



⑥7月9日 18日間の戦いを終えて(選挙事務所にて)

七月二十六日日医連執行委員会開催 横倉委員長再任される

七月二十六日日医連執行委員会開催

(記事は二面)

第24回参議院比例代表選挙 「自見はなこ」都道府県別得票数

	「自見はなこ」 得票数	A①会員	A①会員 1人当たり 得票数
北海道	3,972	2,284	1.74
青森県	1,648	699	2.36
岩手県	2,181	700	3.12
宮城県	2,420	1,400	1.73
秋田県	1,383	598	2.31
山形県	1,362	692	1.97
福島県	1,700	1,060	1.60
茨城県	3,109	1,379	2.25
栃木県	2,378	1,168	2.04
群馬県	5,374	1,331	4.04
埼玉県	6,586	3,474	1.90
千葉県	3,325	2,953	1.13
東京都	21,449	9,831	2.18
神奈川県	6,190	5,370	1.15
新潟県	1,802	1,265	1.42
富山県	1,919	680	2.82
石川県	3,920	712	5.51
福井県	1,610	468	3.44
山梨県	886	538	1.65
長野県	2,191	1,216	1.80
岐阜県	4,757	1,301	3.66
静岡県	6,965	2,216	3.14
愛知県	6,670	4,568	1.46
三重県	3,828	1,212	3.16
滋賀県	1,320	824	1.60
京都府	3,085	2,177	1.42
大阪府	6,179	7,618	0.81
兵庫県	4,825	4,535	1.06
奈良県	1,555	1,049	1.48
和歌山県	1,224	946	1.29
鳥取県	1,006	399	2.52
島根県	886	483	1.83
岡山県	2,694	1,372	1.96
広島県	3,445	2,295	1.50
山口県	3,521	1,103	3.19
徳島県	944	665	1.42
香川県	1,408	731	1.93
愛媛県	2,558	1,078	2.37
高知県	633	512	1.24
福岡県	46,398	3,878	11.96
佐賀県	4,349	649	6.70
長崎県	6,596	1,205	5.47
熊本県	5,128	1,317	3.89
大分県	5,006	894	5.60
宮崎県	3,160	790	4.00
鹿児島県	5,161	1,199	4.30
沖縄県	1,856	770	2.41
総計	210,562	83,604	2.52



横倉新体制

日本医師連盟は7月26日、日医会館で執行委員会を開催した。執行委員会では、「日医連役員人事」の審議が行われ、横倉義武委員長の再任が満場一致で決まった。横倉委員長は3選目。役員、執行委員の任期は2年間。

日医連執行委員会開催

横倉委員長 3期目



今回の執行委員会においては役員改選期に伴う役員等の選出があり、執行委員会では、まず日本医師連盟委員長の選出が行われた。

医政活動、政治活動の重要性を確認

横倉委員長は、日医連委員長に再任されたことに対し謝辞を述べたあと次のように語った。「先の参議院議員選挙で、日医連組織内候補である自見はなこ候補が連盟会員の先生方のおかげで二十一万票余りの票を獲得し当選することができた。しかし、連盟活動、政治活動に関しては見直す点も今回の選挙戦を通じて明らかになった。我々の行っている医療というものが政治と不可分であること。いろいろなことが政治で決まってくるということを先生の先生に理解いただくよう、日医連執行委員の先生方にご指導いただきながら、今後の日医連の活動を考えていきたい(要旨)」

新任副委員長より挨拶

金井忠男副委員長(埼玉県)「比例区の選挙は非常に難しい。組織内候補を高得票で当選させることは大変なことであるが、大きな課題であり、しっかりと頑張っていきたい」

篠原彰副委員長(静岡県)「会員の先生方に、選挙の必要性、重要性を理解していただくのに苦労した。皆さまにご相談しながら今回の選挙の対策を考えて参りたい」



審議状況

日医連役員人事を承認

続いて、日医連役員人事について議論が行われた。横倉委員長から、「全国からの意見をより幅広くお聞きするために委員長推薦として副委員長を増やすこと、常任執行委員を従来の各ブロックからの一名ずつの八名に加えて委員長推薦で日本医師会の役員以外の三名を加えたい」との組織強化の提案がなされ副委員長、常任執行委員、会計責任者、同職務代行者、会計監督者についての案が提示された。

参与の羽生田、自見参議院議員より挨拶

羽生田俊参議院議員

平成二十八年度交付金について、今村聡副委員長より、「現在の日医連の財政状況から鑑み、負担金の三〇％を都道府県医師連盟に交付させていただきたい」との提案がなされ、提案どおり可決承認された。

日本医師連盟交付金を三〇％に



挨拶する自見参与



挨拶する羽生田参与

「初当選させていただき大変ありがとうございます。全国の会員の先生方に改めて感謝を申し上げます。先生方のご指導を仰ぎ、医政活動において医師連盟の議員として頑張っていきたいと思います」

日本医師連盟役員・執行委員等名簿

平成28年7月26日

委員長	横倉 義 武				
副委員長	中川 俊 男	今村 聡	松原 謙 二	金井 忠 男	篠原 彰
常任執行委員	深澤 雅 則	嘉数 研 二	猪口 正 孝	関 健	小林 博
	空地 顕 一	齋藤 義 郎	河野 雅 行	古谷 正 博	松田 峻一良
	小森 貴	今村 定 臣	鈴木 邦 彦	釜 范 敏	温泉川 梅 代
会計責任者	川島 龍 一				
会計責任者職務代行者	堤 康 博				
会計監督者	小山田 雍	月岡 関 夫	小田 悦 郎		

執行委員	都道府県	都道府県医師連盟委員長	負担金賦課対象者数基準「規約第13条2項(2)」		
	北海道	長瀬 清	藤原 秀 俊	松家 治 道	
	青森	齊藤 勝	村上 壽 治		
	岩手	石川 育成	小原 紀 彰		
	宮城	(嘉数 研 二) *2	佐藤 和 宏		
	秋田	小玉 弘 之	佐藤 家 隆		
	山形	中目 千 之	中條 明 夫		
	福島	高谷 雄 三	星 北 斗		
	茨城	小松 満	石渡 勇		
	栃木	太田 照 男	前原 操		
	群馬	須藤 英 仁	西松 輝 高		
	埼玉	(金井 忠 男) *1	金沢 和 俊	湯澤 俊	
	千葉	田畑 陽一郎	土橋 正 彦	清水 正 寛	
	東京	尾崎 治 夫	真鍋 勉	角田 徹	近藤 太 郎 安藤 高 夫
	神奈川	(古谷 正 博) *2	橋本 雄 幸	菊岡 正 和	松井 住 仁
	新潟	渡部 透	澤井 博 司		
	富山	馬瀬 大 助	吉沢 浩 志		
	石川	近藤 邦 夫	小関 支 郎		
	福井	大中正 光	上田 博		
	山梨	今井 立 史	池端 幸 彦		
	長野	関 隆 教	手塚 司 朗		
	岐阜	(小林 博) *2	岡田 啓 治		
	静岡	(篠原 彰) *1	池田 久 基		
	愛知	柵木 充 明	紀平 幸 一	徳永 宏 司	
	三重	青木 重 孝	横井 隆	櫻尾 富 二 西山 朗	
	滋賀	猪飼 剛	二井 栄		
	京都	安達 秀 樹	越智 眞 一		
	大阪	茂松 茂 人	森 洋 一		
	兵庫	(空地 顕 一) *2	加納 康 至	生野 弘 道 栗山 隆 信	
	奈良	塩見 俊 次	足立 光 平	杉本 欣 也 小高 正 裕	
	和歌山	寺下 浩 彰	大澤 英 一		
	鳥取	魚谷 純	山田 和 毅		
	島根	小村 明 弘	明穂 政 裕		
	岡山	石川 紘	湯原 紀 二		
	広島	平松 恵 一	松山 正 春		
	山口	河村 康 明	檜谷 義 美	豊田 秀 三	
	徳島	(齋藤 義 郎) *2	林 弘 人		
	香川	久米川 啓	今井 義 禮		
	愛媛	久野 梧 郎	小西 久 典		
	高知	岡林 弘 毅	菅 拓 也		
	福岡	(松田 峻一良) *2	刈谷 隆 明		
	佐賀	池田 秀 夫	下河邊 智 久	長柄 均 山近 仁	
	長崎	蒔本 恭	松永 啓 介		
	熊本	福田 稠	高原 晶		
	大分	近藤 稔	高橋 洋		
	宮崎	(河野 雅 行) *2	織部 和 宏		
	鹿児島	池田 琢 哉	富田 雄 二		
	沖縄	安里 哲 好	野村 秀 洋		
			宮里 善 次		

参与	石川 広 己	道永 麻 里	羽鳥 裕	松本 純 一	市川 朝 洋
	松本 吉 郎	羽生田 俊	自見 英 子		

(注) *1は副委員長。*2は常任執行委員。